ユニット新聞

2019 年
4月30日 火
第28号

毎月月末に発行します。
日々の暮らしに役立つ情報やユニットのオススメ情報、スタッフのコラムなど掲載していきます。

靴の洗濯

みなさん、靴洗っていますか？
我が家では、息子の靴はこまめに洗っています。（…あまりにすぐ泥んこになるので…）
先日朝のニュース番組でやっていたのですが、洗っていないスニーカーは雑菌だらけで、匂いはもちろん、水虫などの菌がウジャウジャなんだそうです。
目安は３ヶ月に１回くらいは洗うのがいいと専門家の先生がおっしゃっていました。
一手抜きの楽な洗い方一
洗濯用ネットに靴と一緒にスポンジをいくつか入れて普通に洗濯機を回すと手でゴシゴシ洗ったのと一緒になるそうです。

でも、なんとなく外用の靴を洗濯機に入れる勇気がなくて、面倒ですが、私は手洗いして洗面所に水を張ってつけ置き洗いをしています。
最近ではコインランドリーにも靴専用の洗濯機があったりするので、そういうのを利用するといいかもしれませんね。

Unitガラス工房のリーダー。趣味はゴルフ。
ちょっと毒舌？だけど、それはすべて「親しみをこめて」のこと。
愛嬌たっぷり、ユーモアたっぷりで、みんなを元気にするパワフルリーダー。

今月の作品

母の日のプレゼントに…時計を作りました。
お子様が書いたイラストを煙の部分にお入れします♪

今月は３作品です。今、あまり色を使わずに透明ガラスを上手に使って、焼き時間を工夫し、シンプルだけど、ガラスの質感があってかわいい感じの作品作りにハマっています。

ステンドグラスのフットライトです。
上から覗いた感じがお花みたいでなんだか可愛かったので、何枚も写真を撮ってしまいました。

少し早いですが、紫陽花のインテリアプレートです。
フュージングで透明ガラスを使ってポコポコとしたガラスの質感を出すのがマイブームです。

ブログや Facebook には、ガラスの作品も掲載しています。是非ご覧くださいね。
http://blog.unit-interior.com
Facebookもチェック

スタッフコラム

Unitガラス工房のナンバー２。とってもキッチリしているのでビシっと Unit チームをまとめてくれます。趣味は、なんとメモ。いろんなことを記録するんです。ビックリ！あと，料理がとっても得意なので、みんなの体調管理もしてくれています。

最近は物騒な事が多いですね　先日危機回避のお話を聞く機会がありました。
その対策とは、犯罪の機会を与えないための予防法を身につけること。
①不審なクルマが近ついてきたら、クルマの進行方向とは逆に逃げる。
　すぐにはＵターン出来ないから。
②駐車しているクルマは避けて歩く。突然ﾄﾞｱが開いて連込まれたりする危険がある。
③コンビニでの立ち読みは避ける。外からよく見えるため、狙われやすくなるので控える。
④外を歩くときに、口の閉まるバック一つにする。身軽にしておく、バイクなどからひったくられる危険があるので、車道と反対側に持つようにする。
⑤ヒールが低めの靴など逃げやすい服装を心がける。万が一襲われても逃げやすいようヒールの低い靴や動きやすい服装を、もしヒールの高い靴の時に襲われたら脱ぎ捨て逃げる。
⑥イヤホンや携帯電話は注意散漫になる。音楽を聴きながら、あるいは携帯電話で話しながら歩くと、注意力が散漫になって危険なので避けましょう。防犯ブザーはバックにつけておくだけでも護身になります。
⑦マンションや集合住宅などでは家に帰ってすぐに電気をつけない。
　もし後をつけてきた人がいたとしたら、部屋が分かってしまうから、不在の時間帯も知られてしまう。電気を一か所つけておいたり、タイマーやリモコンを利用する。

まだまだ色々なお話しがありましたが、どれも当たり前のことなのに、気がつかなかったりして行動してないことがおおいですね、すぐに出来る事なので心がけるようにします。

私は、健康に関する情報番組 (TV) が好きで、よく視聴する。中でも、食物では無いもの、例えば…土や毛髪、紙や炭等が食べたくなる「異食症状」が起きたり、或る特定の食物を、単に食の好みでは無く、無性に食べたくなったりするのは、身体からの SOS や病気が隠れている…なんていう情報には目が点になった。
　もうかれこれ２０年程前の私…頭痛と倦怠感、節々の痛みに悩まされ病院へ。で処方された薬を飲み初めた途端、自宅の僅かな階段でさえ上るのが苦しい程「息切れ」が激しくなり、好きでもない納豆を一日に１０パックも２０パックも食べたくなるという異常状態に陥った。キッチンドリンカーならぬ納豆依存性等という病が有るのか否か、食事としては無く、キッチンで家事をしている合間に、唯々納豆だけを、食べても食べても直ぐに、また食べたくなり、もし無くなったらどうしたらいいの!?という強迫観念で一杯になる経験をした。病院でそのことを告げても、「大丈夫、大丈夫。」と勇気付けられるだけで、何だかんだと三年程通院。結局そのあたりから色々な病院をハシゴするようになったが、対処療法しかなく…とうとう吐き気を伴うめまいや頭痛、身体中には内出血の紫斑、目は結膜下出血で、今にも鮮血が目から滴り落ちるかのようにグロテスクな様相を呈する程になっていた。そして、初診から１０年、難病指定の再生不良性貧血だと診断、新たに治療開始となった。血液が正常に骨髄で作れなくなる病気で、「この薬が運良く効けばラッキー」という宝くじのような治療方法がスタート。幸運にも薄紙を剥ぐように少しずつ効果が出て、早１２年。今更ながら、最近の情報番組で納豆を欲した理由に合点がいった。それは、初診で処方された薬 (ワーファリン) を飲んだら納豆を食べてはいけない (薬の効力を弱めるから) と知ったから。私は、貧血を起こした状態なのに、更に血液をサラサラにしようとする薬を飲み続けていたから、身体が悲鳴を揚げて納豆に助けを求めていたのだと。初診の頃はそんな情報、お医者様でも知らずって感じで…
　まだまだ解明できないメカニズムや治癒できない病等が有る中で､私はラッキーにも何度か試練を乗り越えられてきた。今後は、唯々「呆けませんように」と祈るばかりなり。

Unitガラス工房の HP 担当。月刊ユニット新聞の編集長。他にもサンドブラスト，フュージング，ステンドグラスのガラス教室を担当しています。今は、４歳の男の子の子育て中。ドタバタな日々を送っています。ぜひ、アドバスがあれば…ご指導ください。

今月は、 大変でした。 教室に来ていただいた皆さんにはお話していたのですが、 大人なのにリンゴ病にかかってしまって苦しみました。もともと、 子どもがかかり、 それをもらってしまった感じなのですが…子どもはほっぺが赤くなるだけで、 ただの風邪くらいの症状なのですが、 大人は本当に辛かったです。
全身の関節痛。 むくみ。 体のかゆみ…しかも見た目は普通だから家族には 「なに！？」 と言った感じに見られるのですが、 関節という関節、 手の指を曲げることさえ痛いし、 階段の上り下りも急におばあちゃんになってしまったかのように辛く、 大変でした。 その影響で、 今月はあまり作品づくりもできず…なんとか治ったからよかったのですが、 長い人だと半年もこの痛みに苦しめられるそうです。 どんな病気でもそうですが、 子どもの時より大人がかかると大変なんですね。 せっかくの春なのに、 痛みと身体中の痒みとの戦いの日々でした。

Unitガラス工房の工房長。羊毛フェルト教室とサンドブラストのガラス教室を担当しています。手先がすごく器用なので、大工仕事も得意です♪
いつも工房では作業着ですが、私服はとってもオシャレ☆

子供の書いた絵が好きです。特に幼稚園児の時期くらいに書く絵がおもしろいですよね。画材もクレヨンで描いてある事が多いんですが、そのほんわかした感じもいいです。スーパーや銀行に子供の絵が展示されていると見入ってしまいます。羊毛フェルトで子供が描いたお母さんの絵を立体化しました。クレヨン独特のかすれや色の交じり方なども意識しています。髪の毛の部分には細い針金を入れて動きを付けました。今、この時にしか書けない造形ですから丁寧に再現度を高める工夫がしてあります。